

ゲノム生化学セミナー

新規癌関連遺伝子の同定による 癌化メカニズムの解明

大木 理恵子 先生

国立がん研究センター研究所

難治がん研究分野

日時：2013 年 12 月 2 日（月）16:30 - 17:30

場所：微生物病研究所 本館 1 階 微研ホール

大木理恵子先生は、癌抑制遺伝子の機能発現機構の解明に取り組み、これまでに p53 の標的遺伝子である Noxa (*Science*, 288, 1053 - 1058, 2000) や PHLDA3 (*Cell*, 136, 535 - 550, 2009) を発見されるなど、特に p53 の癌抑制機能発現の研究で業績をあげてこられました。

今回のセミナーでは、こうした癌抑制遺伝子の機能を中心として、マウス個体を用いたお仕事などについてもお話しいただく予定です。

連絡先： 微生物病研究所

感染症学免疫学融合プログラム推進室

ゲノム生化学研究グループ

藤井 穂高（内線 8358; hodaka@biken.osaka-u.ac.jp）